



2018年9月期 第3四半期 決算説明会

2018年7月26日

株式会社セプテーニ・ホールディングス

www.septeni-holdings.co.jp

Securities Code : 4293

1. 2018/9期 3Q累計期間連結決算概要
2. 四半期連結決算概要
3. ネットマーケティング事業
4. メディアコンテンツ事業
5. 業績予想修正と今後の方針
6. 補足資料

- 2016年9月期より、従来の日本基準に替えてIFRSを適用しております。
- 従来の「売上高」は参考情報として任意開示とする一方、IFRSに基づく指標として「収益」を開示しております。ネットマーケティング事業の大半を占める広告代理販売における収益は、マージン部分のみの純額計上となります。
- 事業の実態をより適切に表現するため、「Non-GAAP営業利益」を任意で開示しております。Non-GAAP営業利益とは、IFRSに基づく営業利益から、減損損失、固定資産の売却損益等の一時的要因を調整した恒常的な事業の業績を測る利益指標です。
- 本資料の数値は、単位未満を四捨五入して表示しております。
- 従来より各セグメントへ配賦していました全社費用について、2018年9月期以降は配賦を行わない方針に変更しております。当変更に伴い、過年度のセグメント別Non-GAAP営業利益は全社費用を配賦しない基準にて遡及修正しております。

1. 2018/9期 3Q累計期間 連結決算概要

連結

収益 **11,525**百万円 (前年同期比 **6.3%**増)
 Non-GAAP営業利益 **837**百万円 (前年同期比 **51.9%**減)

収益が計画を下回り、Non-GAAP営業利益は大幅減益

ネット マーケティング 事業

収益 **10,753**百万円 (前年同期比 **5.0%**増)
 Non-GAAP営業利益 **3,164**百万円 (前年同期比 **23.5%**減)

既存顧客の取扱高が前四半期比で落ち込み、国内収益が低調に推移

メディア コンテンツ 事業

収益 **993**百万円 (前年同期比 **23.0%**増)
 Non-GAAP営業利益 **-821**百万円 (前年同期比 **203**百万円赤字縮小)

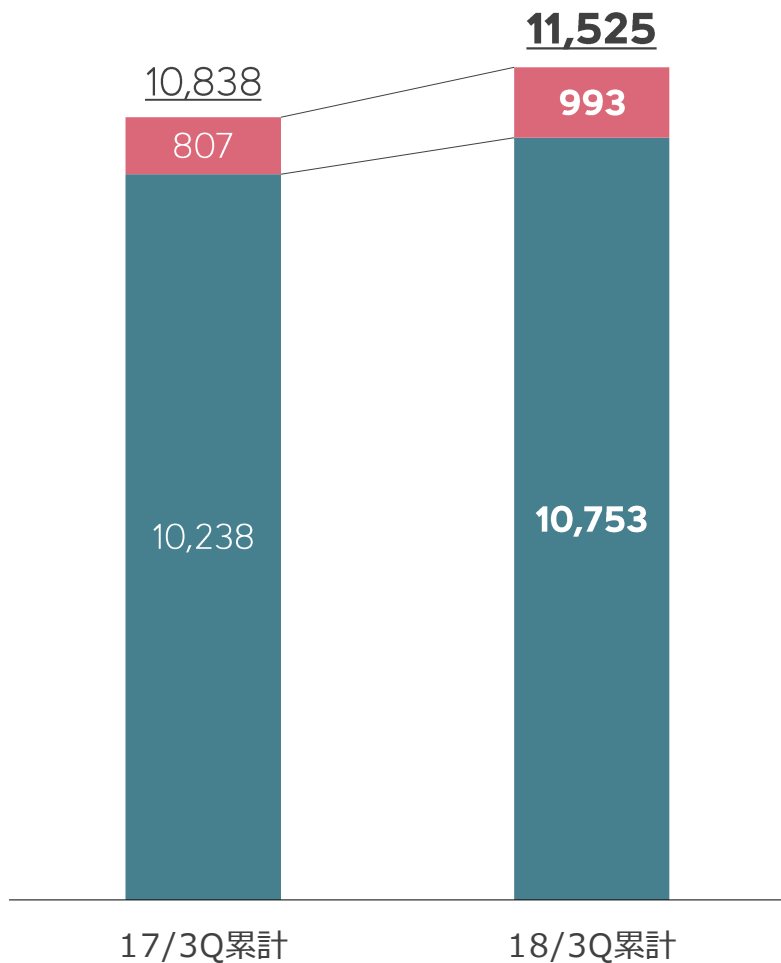
プロモーション費用を抑制し、プロダクト改善に注力

- 収益は前年同期比で **+6.3%** の増収
- 中期的な競争力強化を見据えた先行投資によるコスト増を増収でカバーできず、大幅減益

(単位:百万円)	2018年9月期 3Q累計			2017年9月期 3Q累計		2018年9月期 通期業績予想 (前回予想)	進捗率
	金額	比率	前年同期比	金額	比率		
収 益	11,525	100.0%	+6.3%	1,0838	100.0%	16,376	70.4%
売上総利益	9,607	83.4%	-0.3%	9,637	88.9%	—	—
販売管理費	8,782	76.2%	+11.3%	7,891	72.8%	—	—
Non-GAAP 営業利益	837	7.3%	-51.9%	1,739	16.0%	1,718	48.7%
営業利益	826	7.2%	-50.4%	1,665	15.4%	—	—
継続事業からの 四半期利益	768	6.7%	-22.5%	991	9.2%	—	—
非継続事業からの 四半期利益	—	—	—	883	8.2%	—	—
親会社の所有者に 帰属する四半期利益	768	6.7%	-59.1%	1,879	17.3%	1,204	63.8%
【参考】売上高	54,336	—	+0.6%	54,026	—	75,824	71.7%

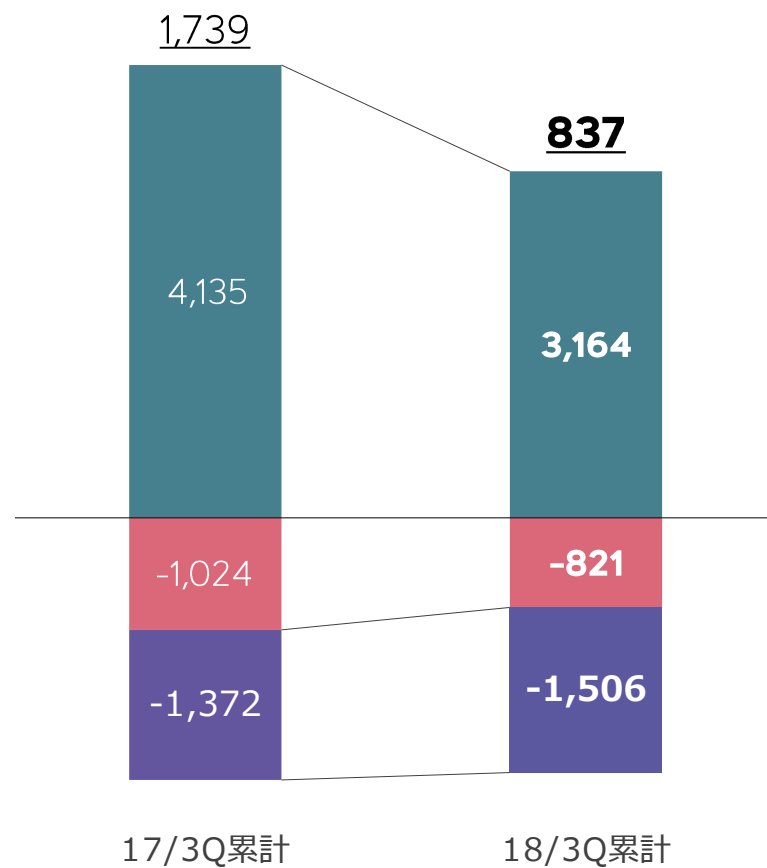
収益

(単位:百万円)



Non-GAAP営業利益

(単位:百万円)

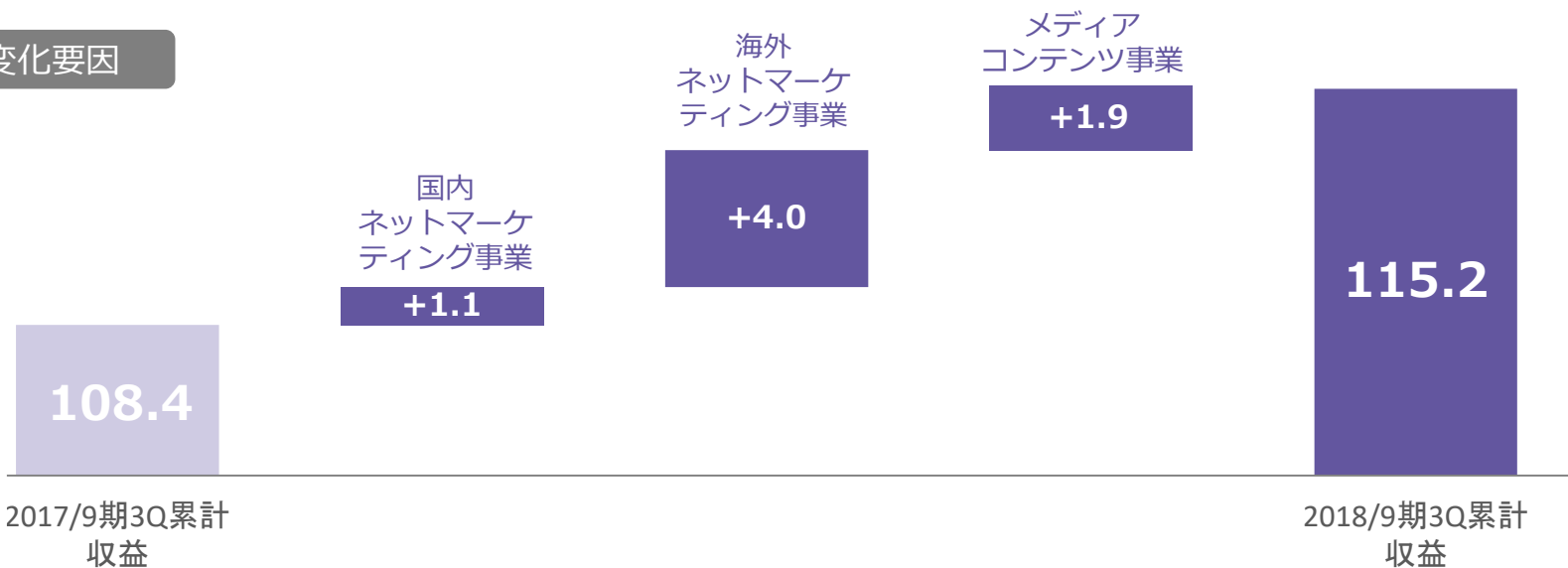


■ ネットマーケティング ■ メディアコンテンツ ■ 調整額(全社費用等)

※セグメント間収益の消去分の記載を省略しているため、各事業収益の合計と連結収益(下線付数値)は一致しない

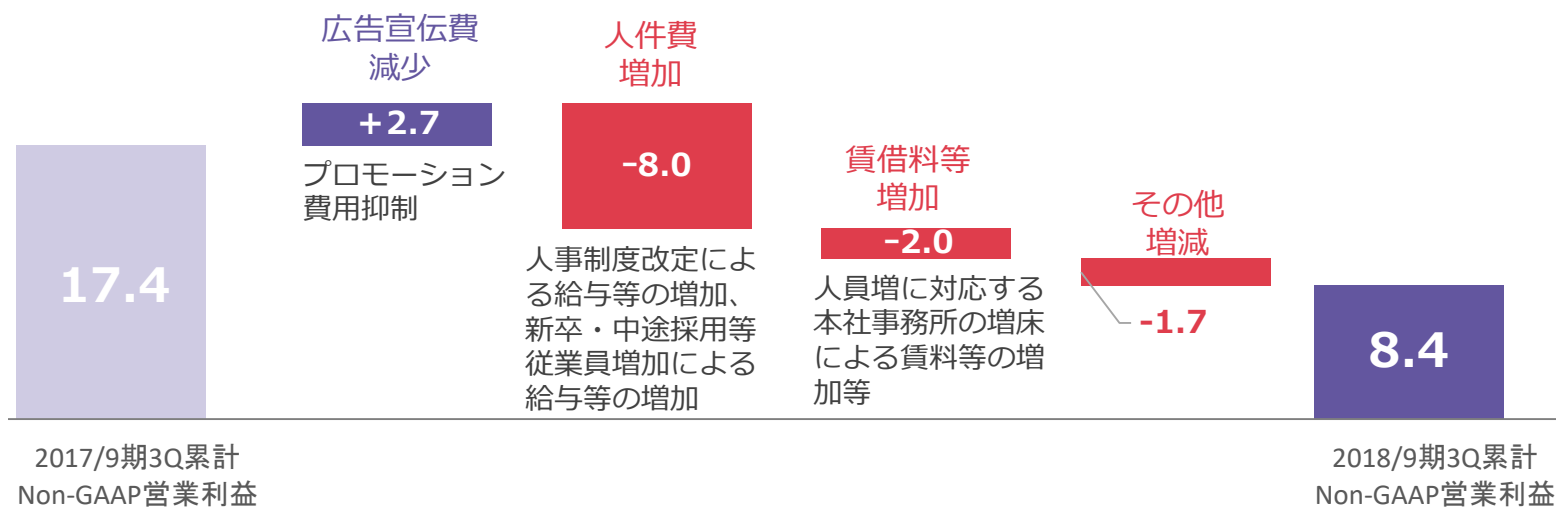
収益の主な変化要因

(単位:億円)



Non-GAAP営業利益の主な変化要因

(単位:億円)

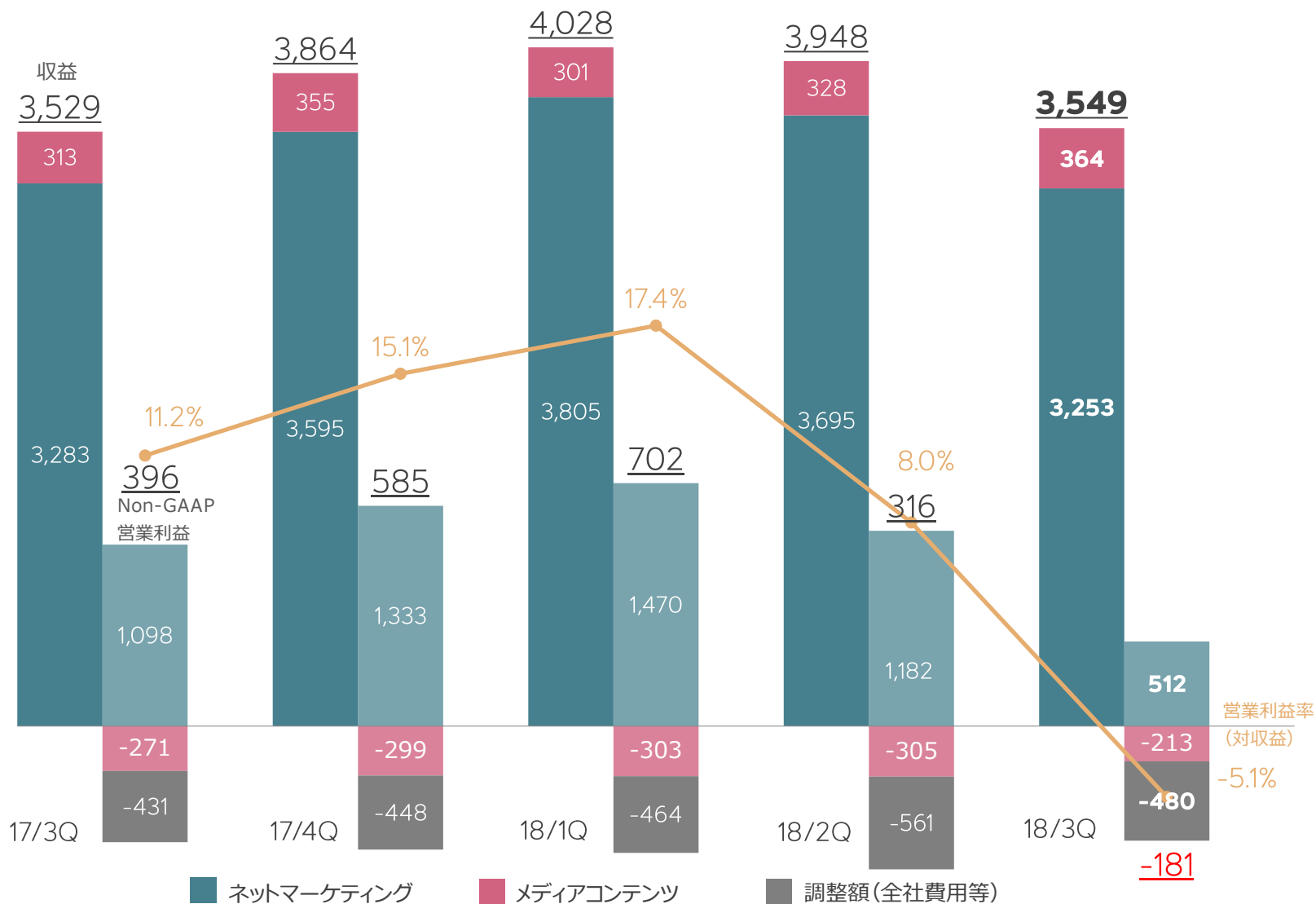


2. 四半期連結決算概要

- ネットマーケティング事業の国内収益が減少、メディアコンテンツ事業は堅調な推移
- 競争力強化のためのクリエイティブ投資により、原価率が上昇
- 人事制度改定による人件費増に加え、4月に新卒社員125名の入社により販売管理費比率が上昇

(単位：百万円)	2018年9月期 3Q			2017年9月期 3Q	
	金額	比率	前年同期比	金額	比率
収 益	3,549	100.0%	+0.6%	3,529	100.0%
売上総利益	2,865	80.7%	-6.9%	3,076	87.2%
販売管理費	3,047	85.8%	+14.0%	2,672	75.7%
Non-GAAP 営業利益	-181	-5.1%	-	396	11.2%
営業利益	-183	-5.2%	-	394	11.2%
継続事業からの 四半期利益	15	0.4%	-89.1%	136	3.8%
親会社の所有者に 帰属する四半期利益	14	0.4%	-89.3%	136	3.8%
【参考】売上高	16,693	—	-0.4%	16,757	—

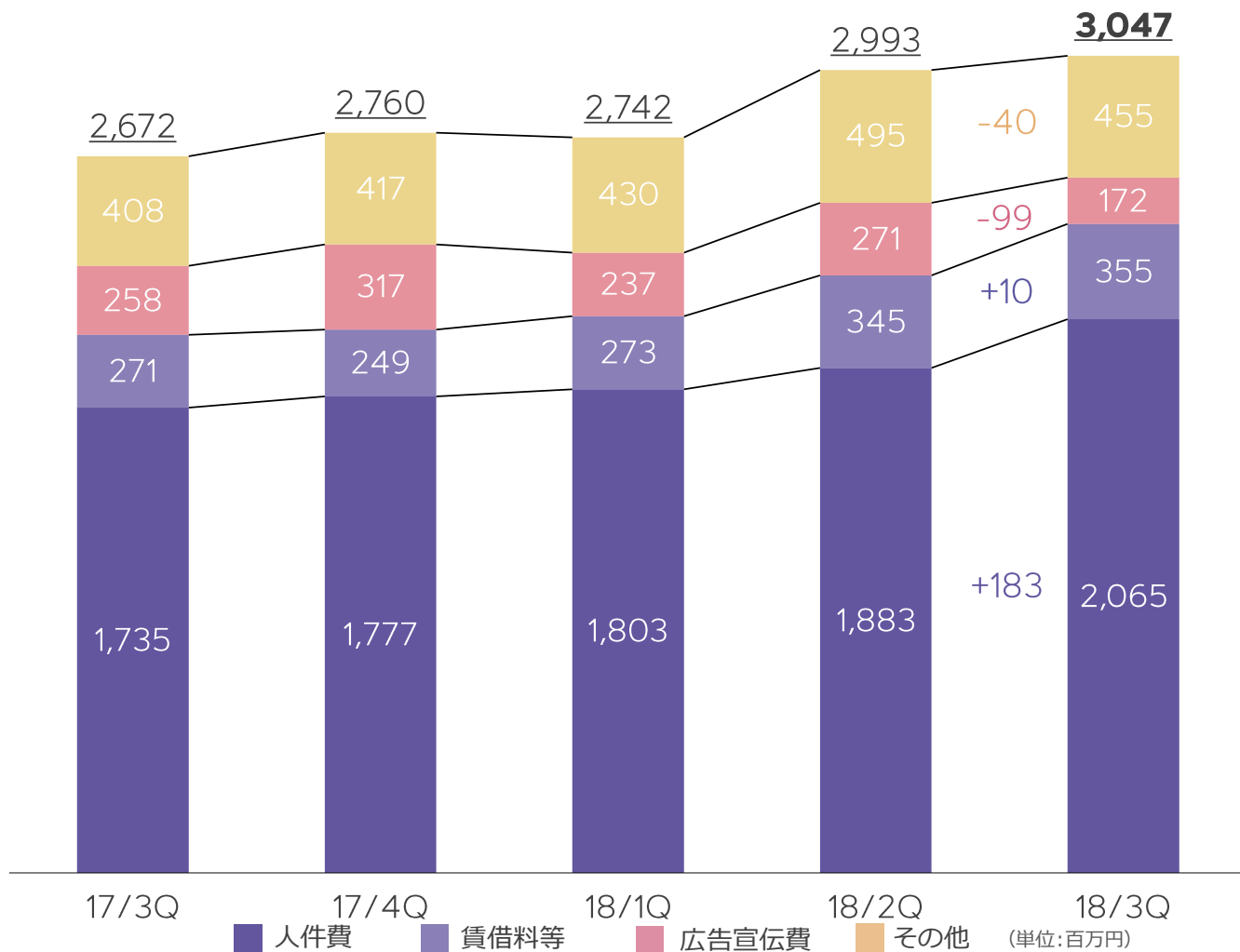
● 各種投資を補う十分な収益の伸びを確保できず営業利益率が悪化



※セグメント間収益の消去分の記載を省略しているため、各事業収益の合計と連結収益(下線付数値)は一致しない

※2018年9月期より各セグメントへの全社費用の配賦方法を変更したことに伴い、過去数値を遡及修正

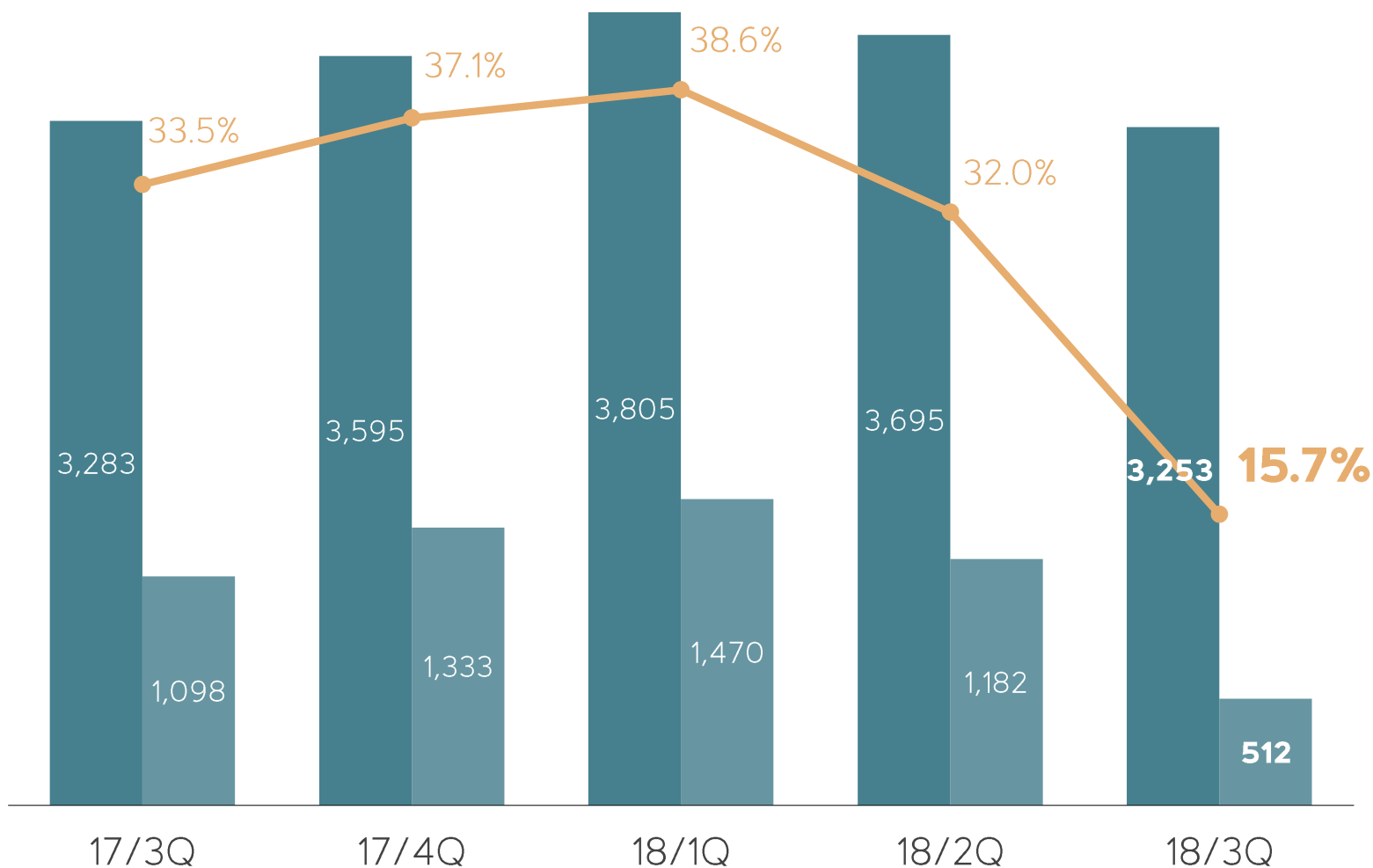
- マンガコンテンツ事業におけるプロモーションを中心に**99百万円**の広告宣伝費を縮小
- 前年同期比**168名**の人員増及び人事制度改定に伴う給与増により、人件費が増加
- 事務所増床やリモートワーク環境整備に関連し、前年同期比で賃借料・消耗品費等が増加



3. ネットマーケティング事業

- 既存顧客の取扱高縮小により減収
- 競争力強化のためのクリエイティブ投資により、原価率が上昇
- 4Qに向けて新規顧客の獲得は順調に推移

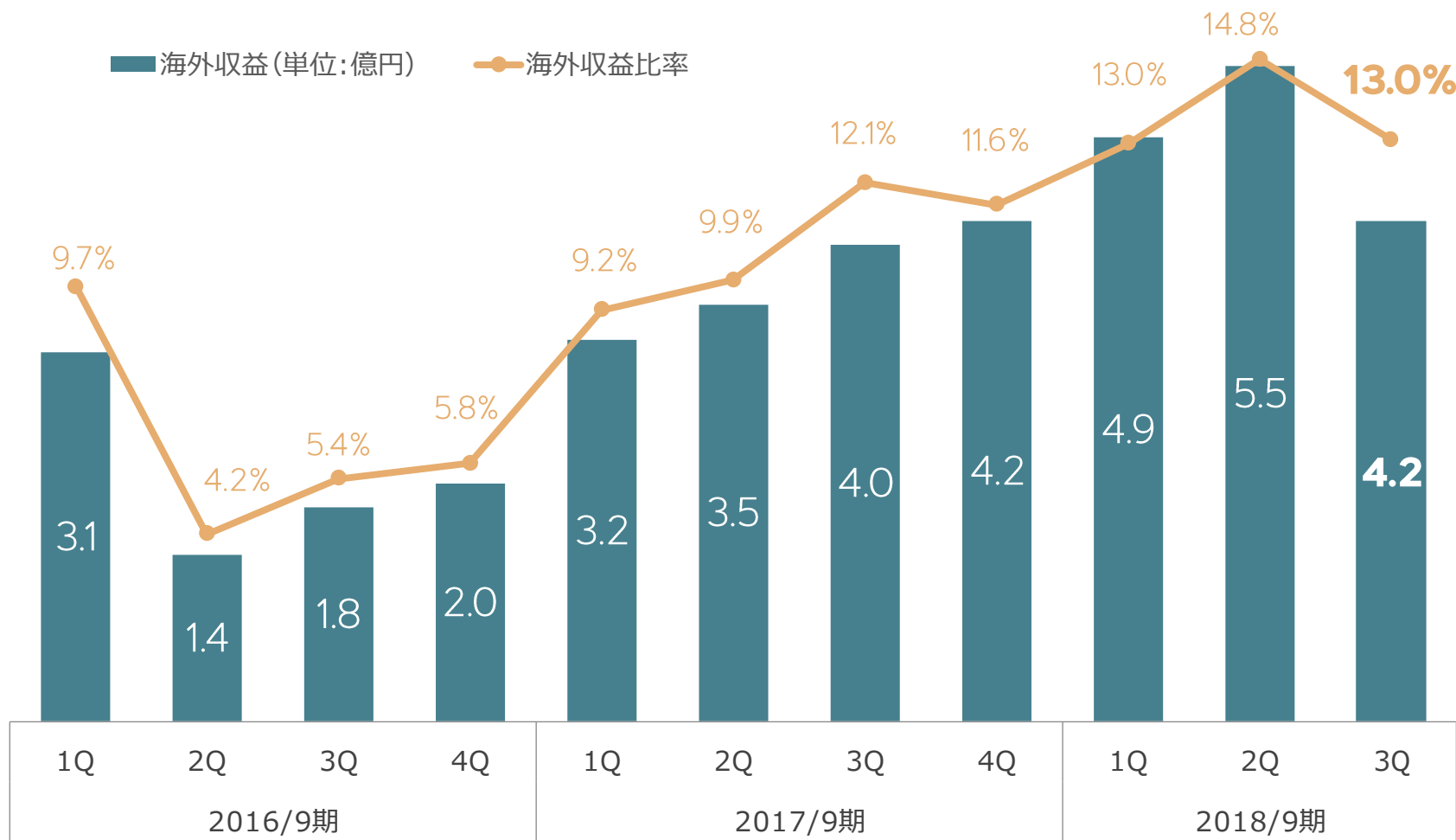
(単位：百万円)	2018年9月期 3Q			2017年9月期 3Q (前年同期)	
	金額	比率	前年同期比	金額	比率
収 益	3,253	100.0%	-0.9%	3,283	100.0%
売上総利益	2,705	83.1%	-8.2%	2,946	89.7%
販売管理費	2,193	67.4%	+19.3%	1,838	56.0%
Non-GAAP 営業利益	512	15.7%	-53.4%	1,098	33.5%
【参考】売上高	16,548	—	-1.5%	16,794	—



収益
 Non-GAAP営業利益
 営業利益率(対収益)

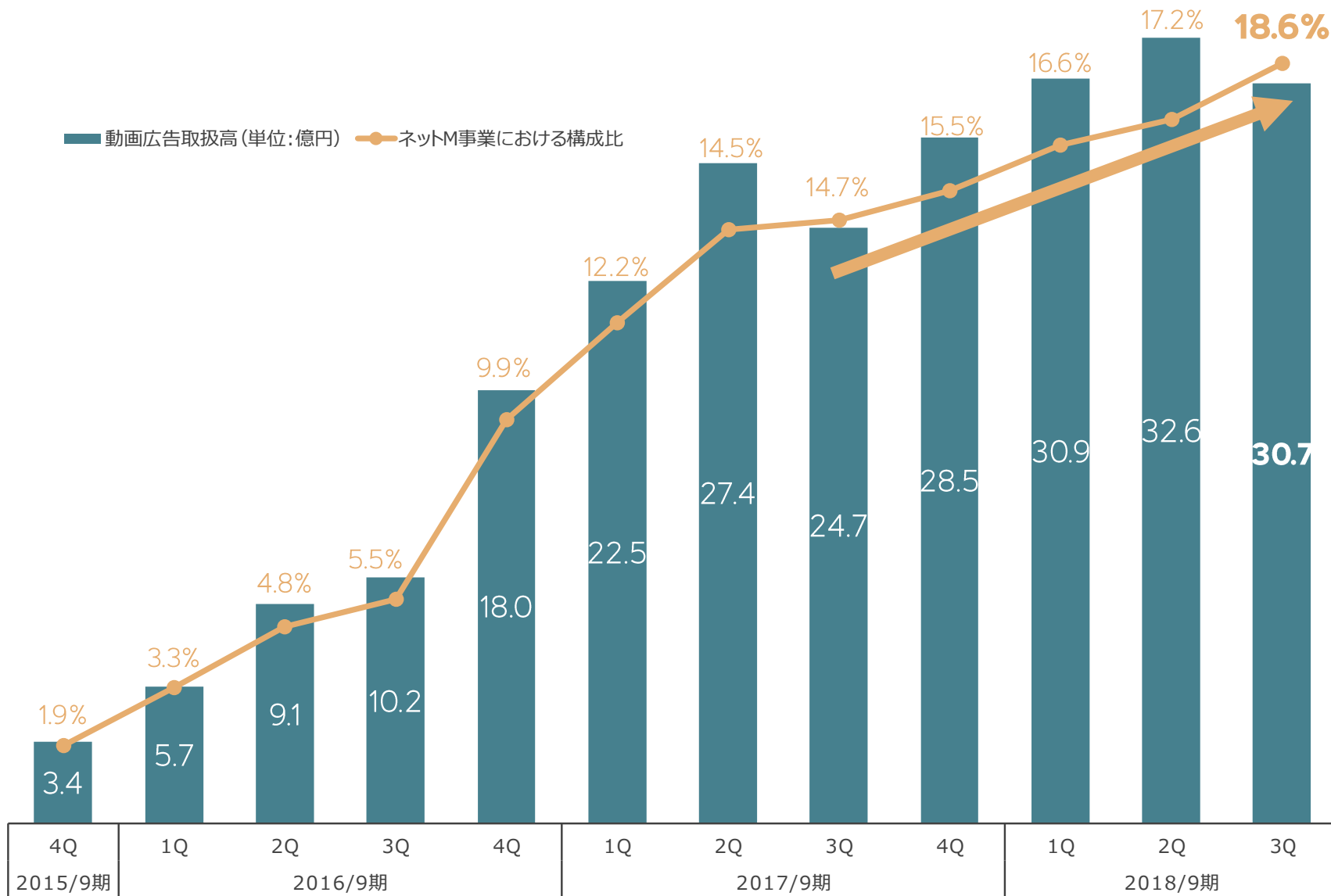
(単位:百万円)

- 特定案件の縮小により前四半期比で減収するも、成長基調は継続



※海外収益の定義: 海外顧客による日本国内への出稿案件 (Out-In)、海外顧客による海外への出稿案件 (Out-Out) における収益を集計

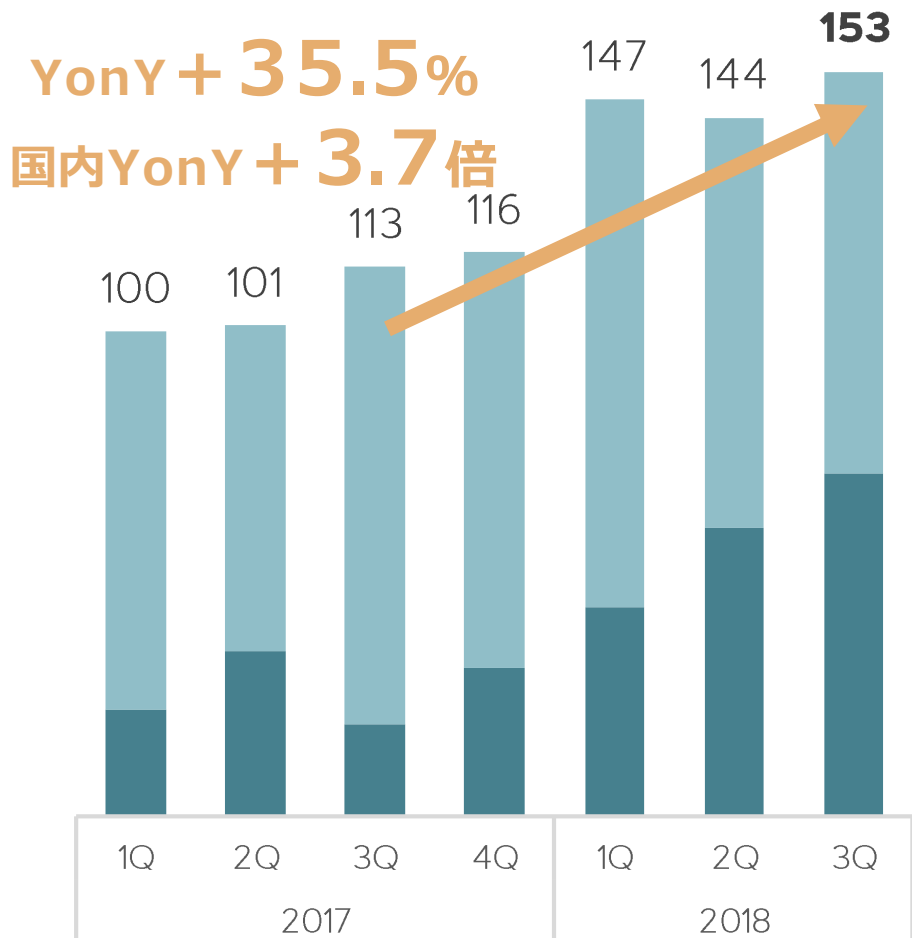
- YonYでは+24.2%の増収をするも、前四半期比では季節性の反動により減収



- 国内のブランド広告案件の伸長が寄与し、順調に拡大

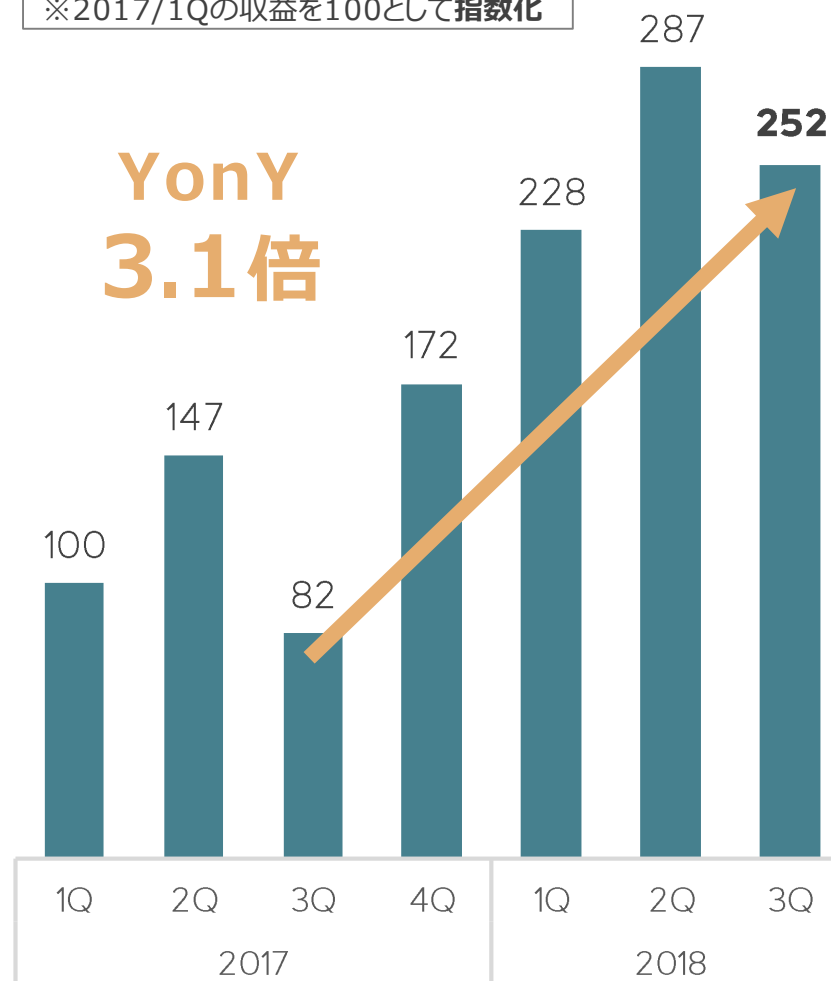
収益推移

■ 国内 ■ 海外 ※2017/1Qの収益を100として指数化



ブランド広告における運用型広告取扱高推移

※2017/1Qの収益を100として指数化



パートナー認定獲得

- LINEが広告会社などを認定・表彰する「LINE Biz-Solutions PartnerProgram」において、PYXISが当社グループでは**3つ目**となる「**Ad Tech Partner**」に認定

*1 2017年10月 セプテーニが2017年4~9月における「Sales Partner」の「Gold」に認定

*2 2018年2月 トライコーンが2017年における「LINE Biz Account部門における「Sales Partner」の「Gold」に認定



*1



*2



広告事業におけるAI活用の取組み

- **今後の成長ドライバー**として位置づける**AI、データ活用**が進展し、**AIを活用した2つのツール**をリリース
 - 広告効果の向上を目的とした「**Precog for Action**」
 - 広告運用の効率化を目的とした「**Precog for App**」



中期経営方針(2017年9月期以降) 基本方針 再掲

広告事業をグローバルに伸ばす

M&Aによるグローバル展開の加速

- 韓国のデジタルエージェンシーで株式会社オプトホールディングの子会社である eMFORCE Inc. の株式取得(子会社化)に関する基本合意書を締結(2018年7月26日発表)

会社名	eMFORCE Inc.
設立時期	2000年11月
本社所在地	ソウル
従業員数	約270名
2017年 12月期実績	広告取扱高: 97.5億円 収益: 21.3億円 営業利益: 1.7億円 (1KRW=0.0986円)

(参考) 当社海外収益比率の推移

2018年9月期 海外収益比率

15%前後(見込)



eMFORCE社の株式取得後 海外収益比率

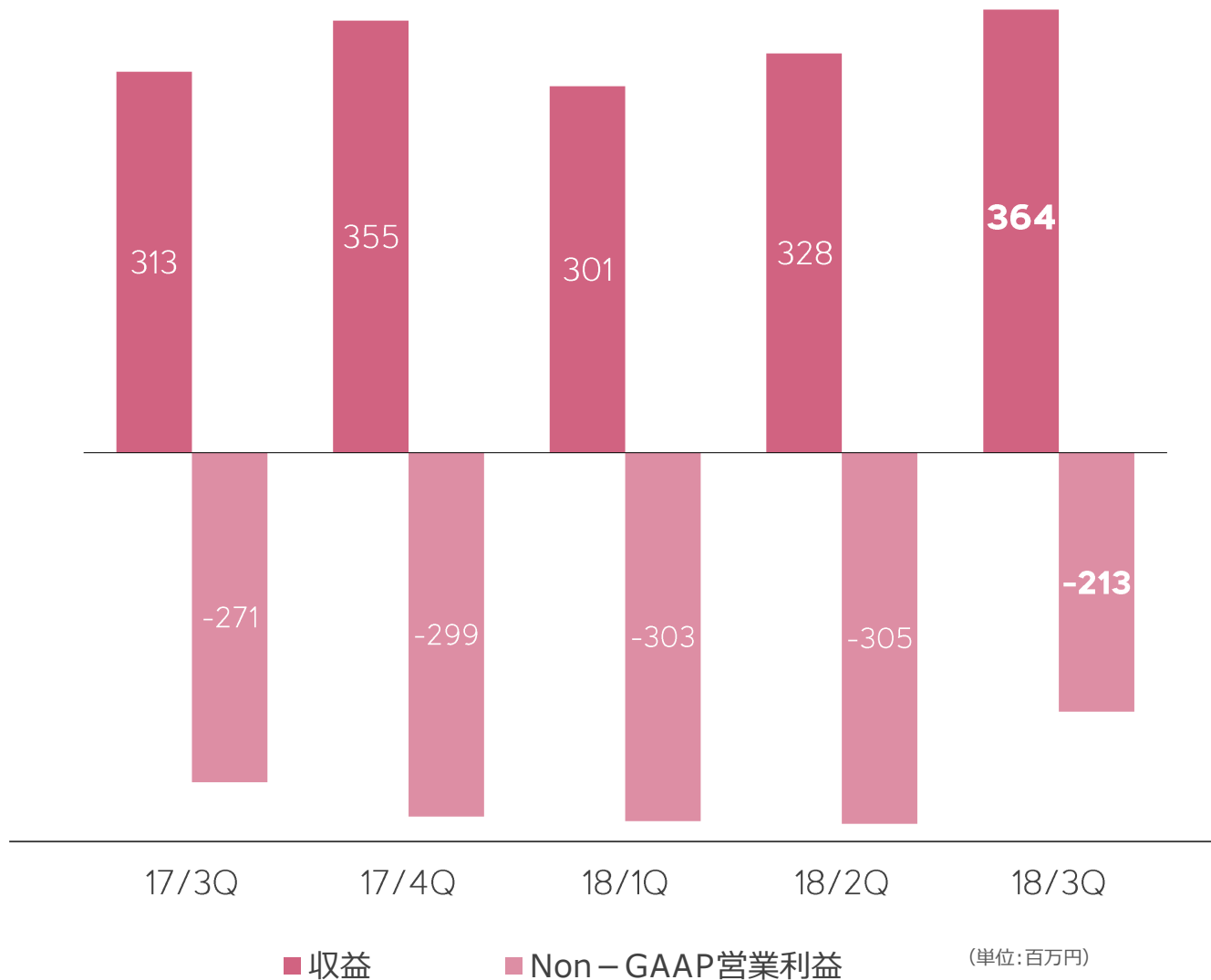
25~30%前後(参考)

4. メディアコンテンツ事業

- マンガコンテンツ事業の広告収益が増加
- プロモーション費用抑制によりNon-GAAP営業損失は**58百万円**縮小

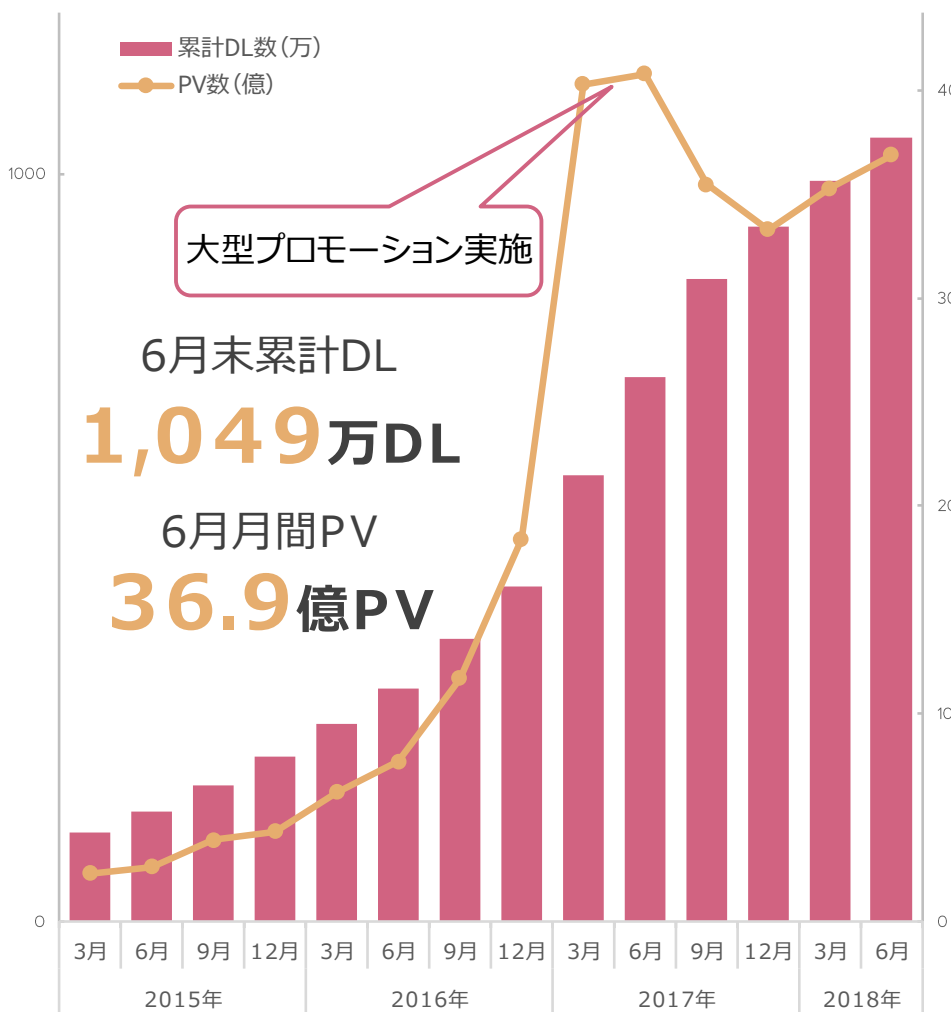
(単位:百万円)	2018年9月期 3Q			2017年9月期 3Q (前年同期)	
	金額	比率	前年同期比	金額	比率
収 益	364	100.0%	+16.4%	313	100.0%
売上総利益	227	62.3%	+12.8%	201	64.3%
販売管理費	440	120.8%	-7.1%	473	151.4%
Non-GAAP 営業利益	-213	-58.4%	+58	-271	-86.6%

- 前年同期比で着実に収益が拡大
- GANMA！におけるプロモーション投資を抑制し、コンテンツ強化へ注力



GANMA! ダウンロード、PVともに堅調に推移

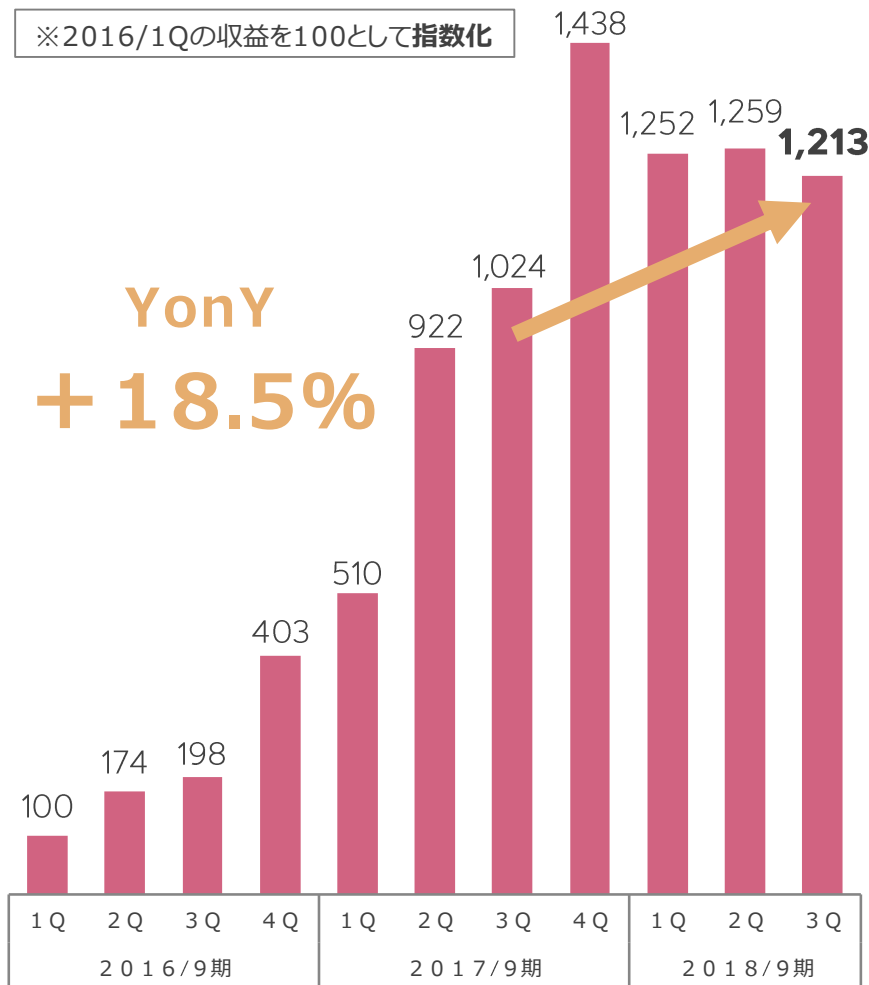
GANMA! 累計DL数・月間PV数推移



アプリ収益推移

(GANMA! の広告収益と課金収益の合計額)

※2016/1Qの収益を100として指数化



GANMA! 下期より注力している課金収益が順調に増加

コンテンツの多面展開

- 公式ECサイト
『GANMA! SHOP』開始

アプリ版GANMA!
1000万DL達成記念の
イベントと連動し、開設



- SHIBUYA TSUTAYA
にて約1か月にわたり
GANMA! グッズ
コーナー展開

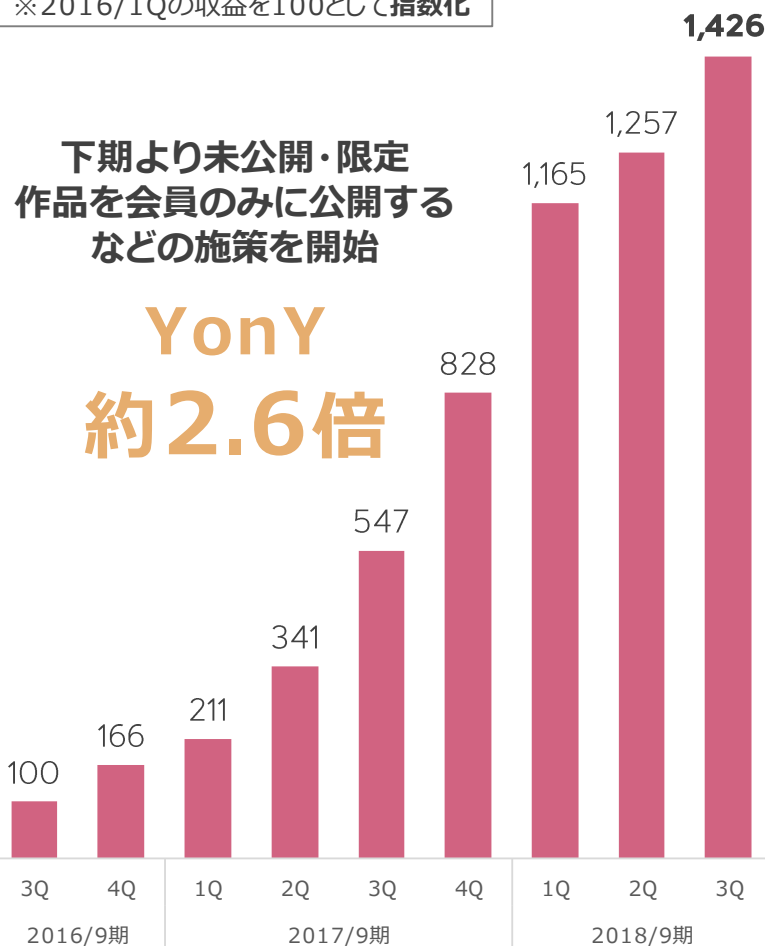


- 『焼肉店センゴク』
テレビアニメ放送開始
TOKYO MXで
7月3日(火)より放送



課金収益*推移

※2016/1Qの収益を100として指数化



*GANMA! のアプリ内におけるPremium会員登録による課金収益

GANMA! 中期方針: **グローバル展開による成長を志向**

①プロダクト

- ・プロダクト改善による継続率の上昇及び滞在時間の増加

- ・ヒットタイトルの露出面を拡大
- ・IP価値の向上

③コンテンツ

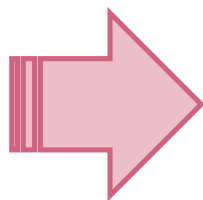


②マーケティング

- ・ユーザ獲得効率の改善
- ・チャンネルの拡大

- ・広告収益の安定成長
- ・アプリ課金の成長ペース加速
- ・グッズ販売の本格化

④マネタイズ



足元は**ユーザあたり収益**の増加を優先、次の段階で国内市場における**ユーザ規模拡大**を追求

5. 業績予想修正と今後の方針

- 2018年9月期より業績予想開示方針を変更しております。引き続き予測困難な市場環境の変動要素は存在するものの、近年と比較し、足元では一定程度将来の見通しが立てやすい状況となったことなどを総合的に判断し、四半期毎に翌四半期業績予想を開示する従前方針から、半期毎の業績予想を開示する方針に変更を行うものであります。

(単位:百万円)	収益	Non-GAAP 営業利益	親会社の所有者に 帰属する当期利益	基本的1株当たり 当期利益
前回発表予想(A)	16,376	1,718	1,204	9円52銭
今回発表予想(B)	15,225	862	720	5円70銭
増減額(B-A)	△1,151	△856	△484	—
増減率(%)	△7.0	△49.8	△40.2	—
前期実績 (2017/9期通期)	14,702	2,325	2,211	17円38銭

修正理由

- ✓ 国内ネットマーケティング事業における既存広告主の取扱高減少による低調な推移
- ✓ 競争力強化のためのクリエイティブに関する費用等の増加

**費用を四半期毎に微減させるようコントロールしつつ
トップライン成長に向けた組織力強化を目指す**

→ 当期下期～来期の取組み方針(本資料29ページ)

(単位:百万円)

ネット マーケティング事業
メディア コンテンツ事業
消去・全社
連結

		収		益	
2017/9期 通期実績	3Q累計実績 (10-6月)	4Q予想 (7-9月)	2018/9期 修正通期予想	予想成長率 (前期比)	
13,833	10,753	3,415	14,168	+2.4%	
1,163	993	345	1,337	+15.0%	
△294	△221	△60	△ 281	-	
14,702	11,525	3,700	15,225	+3.6%	

(単位:百万円)

ネット マーケティング事業
メディア コンテンツ事業
消去・全社
連結

Non-GAAP営業利益					
2017/9期 通期実績	3Q累計実績 (10-6月)	4Q予想 (7-9月)	2018/9期 修正通期予想	予想成長率 (前期比)	
5,468	3,164	734	3,898	△28.7%	
△1,324	△821	△244	△ 1,065	-	
△1,820	△1,506	△465	△ 1,971	-	
2,325	837	25	862	△62.9%	

セグメント別事業方針

ネット マーケティング 事業

<国内事業>

- ・人材投資による組織強化をトップラインの伸びにつなげる
- ・ブランド広告事業の成長促進、中核事業へ育成

<海外事業>

- ・オーガニック成長とM & Aによる拡大

メディア コンテンツ 事業

- ・プロダクト強化とマネタイズの進展

経営基盤

- ・データとAI活用による人材の早期戦力化
- ・コストコントロールによる利益体質の強化

トップラインの再成長とコストコントロールで
業績の**V字回復**を目指す

本日はありがとうございました。

お問い合わせ先

株式会社セプテーニ・ホールディングス

www.septeni-holdings.co.jp

経営企画部 IR課

TEL:03-6857-7258 E-mail: ir@septeni-holdings.co.jp

このプレゼンテーション資料に記載された弊社の将来に関する意見や予測及び計画は、2018年7月26日現在の弊社の判断であり、その正確性を保証するものではありません。
世界情勢の変動に関わるリスクやその他様々な不確定要因により、実際の業績が記載の予測と大きく異なる可能性があります。

6. 補足資料

2018年6月30日現在

会 社 名	株式会社セプテーニ・ホールディングス
代 表 者	代表取締役 グループ社長執行役員 佐藤 光紀
所 在 地	東京都新宿区西新宿8-17-1 住友不動産新宿グランドタワー
証 券 コ ー ド	4293 (JASDAQ)
事 業 内 容	インターネット事業を中心に事業展開する企業グループを統括する持株会社
設 立 日	1990年10月29日
資 本 金	2,120百万円
発 行 済 株 式 数	138,856,500株 (うち自己株式10,724,100株) ※
連 結 従 業 員 数	1,497名(従業員) うち1,215名(正社員)

※役員報酬BIP (Board Incentive Plan) 信託が保有する当社株式1,739,200株は含んでおりません。

純粋持株会社

(株)セプテーニ・ホールディングス

2018年7月26日現在

ネットマーケティング事業

(株)セプテーニ	インターネット広告事業 インターネット上のプロモーション全般支援	Septeni Asia Pacific Pte. Ltd.	アジア太平洋地域における インターネット広告事業
Septeni Japan(株)	日本におけるインターネット広告事業	Septeni America, Inc.	北米地域における インターネット広告事業
MANGO(株)	SEMオペレーション	Septeni Europe Co., Ltd	欧州地域における インターネット広告事業
(株)ハイスコア	スマートフォンマーケティング支援事業	七域広告(北京)有限公司	中国における インターネット広告事業
(株)セプテーニ・オリジナル	ウェブサービスの企画・開発	SEPTENI TECHNOLOGY CO., LTD.	ウェブサービスの開発等
Septeni Ad Creative(株)	インターネット広告 クリエイティブの企画・制作	JNJ INTERACTIVE INC.	韓国における インターネット広告事業
(株)セプテーニ・クロスゲート	アフィリエイトネットワーク	Lion Digital Global LTD	東南アジア地域における インターネット広告事業
トライコーン(株)	CRMサービス事業		

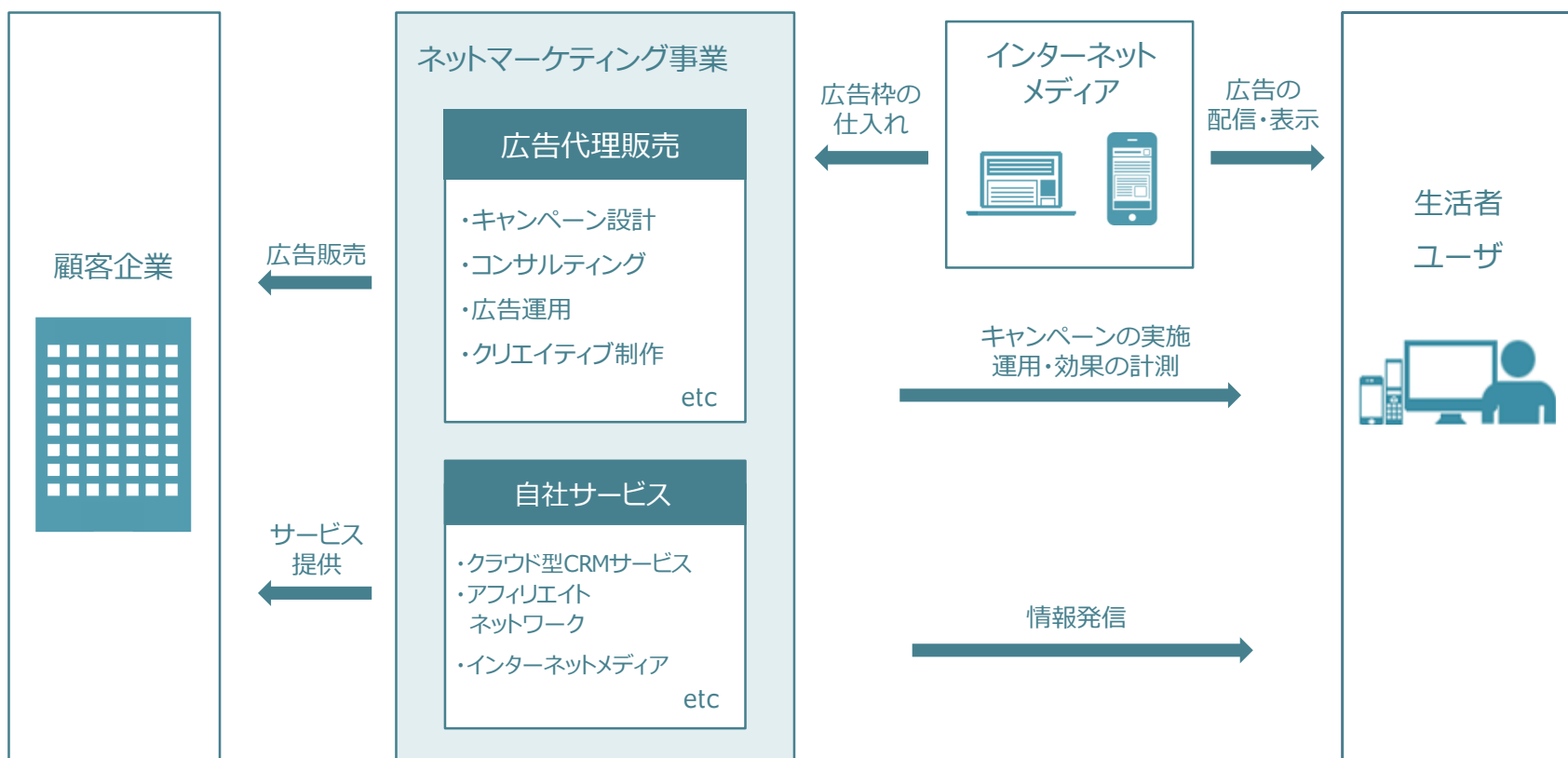
メディアコンテンツ事業

コミックスマート(株)	マンガコンテンツ事業	gooddo(株)	社会貢献プラットフォーム事業
(株)ビビビット	採用プラットフォーム事業	(株)Pharmarket	医療プラットフォーム事業
(株)TowaStela	育児プラットフォーム事業		

新規事業開発

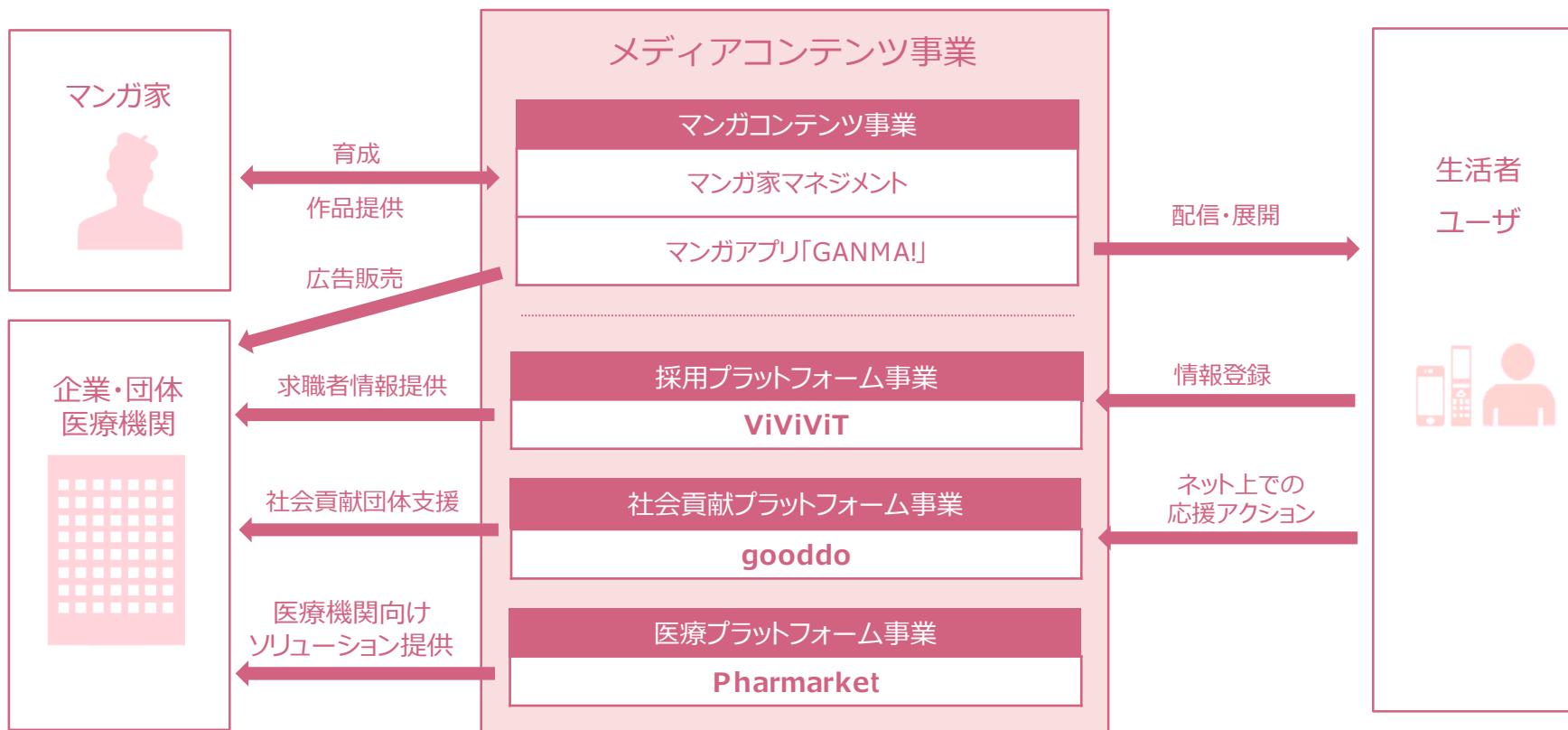
(株)セプテーニ・ベンチャーズ

インターネットを活用した包括的な**マーケティング支援サービス**を企業向けに展開。
 スマートフォン向けを中心としたインターネット広告の販売をはじめ、
自社サービスとしてクラウド型CRMサービスやアフィリエイトネットワーク等
 マーケティングプラットフォームの運営を手がける。



「マンガコンテンツ事業」では、**自社IP (知的財産) の企画・開発**を目的にマンガ家の育成・支援を手がけるとともに、専属作家によるオリジナル作品を中心に構成されたマンガアプリ「GANMA!」を**自社メディア**として運営。

その他に、社内ベンチャーから生まれた新規事業として、「採用」「社会貢献」「医療」に関するプラットフォーム型の事業等を展開。



(単位:百万円)

	2018年9月期 3Q末	2017年9月期 期末	増減	主な変動
流動資産合計	24,364	26,272	△1,908	現金及び現金同等物△1,076 営業債権△723
非流動資産合計	7,125	6,656	+469	有形固定資産+195 持分法で会計処理の投資△114 その他の金融資産+391
資産合計	31,489	32,929	△1,440	
流動負債合計	11,651	13,387	△1,736	営業債務△892 未払法人所得税△310 その他流動負債△518
非流動負債合計	4,345	4,319	+26	引当金+27
負債合計	15,996	17,705	△1,709	
資本合計	15,493	15,224	+269	配当金の支払い△410 四半期利益計上+768
負債及び資本合計	31,489	32,929	△1,440	

(単位:百万円)

	2018年9月期 3Q(10-6月)	主な内訳	2017年9月期 3Q(10-6月)
営業活動による キャッシュ・フロー	△450	継続事業からの税引前四半期利益 + 1,236 法人所得税の還付 + 450 運転資本△787 法人所得税の支払い△1,125	△1,031
投資活動による キャッシュ・フロー	△196	関連会社株式の売却 + 372 有価証券の取得△472 有形固定資産の取得△293	△1,782
財務活動による キャッシュ・フロー	△424	配当金の支払い△410	△1,599
現金及び現金同等物に 係る換算差額	△6		82
現金及び現金同等物の 増減額(△は減少)	△1,076		△4,329
現金及び現金同等物の 期末残高	14,443		11,152

(単位:名)

